

## 恵那南地区中学校再編についての地域説明会議事録

開催日時 令和5年3月14日(火) 午後7時30分～  
開催場所 串原コミュニティセンター サンホール  
出席者 串原地域の方 38名  
その他の地域の方 10名  
説明のため出席した事務局職員等 7名

開 会 (午後7時30分)

教育長 挨拶  
事務局 恵那南地区中学校開校に向けての説明

参加者 中学校の統合は決定ということですが、保護者や住民の人は反対の意見が多いと思う。どれだけ賛成がいますか。

教育長 どれくらいの人数かはわかりませんが、反対の方も賛成の方もいます。

参加者 この中にどれだけ賛成がいますか。  
→ 賛成者の挙手を求める。(賛成の人：半数くらい)  
これで進めていくのか。

教育長 このまま進んでいくのかということですが、先ほどの説明もありましたように、いくつかの検討委員会を経て私たちに提言書等をいただいております。それに向かって進めていきたい。また、今、3月議会を行っています。市長の方も最初の日に統合を進めていくとお話をいただきました。それから、予算です。今、3月議会に出しております。議会で検討いただいて、それが認められれば、議会としても、その方向で行こうということの意思表示という風に思っておりますので、よろしく願いいたします。

参加者 1校の統合には反対の立場です。串原中学校の現状を聞いた状態で、存続するとはさすがに言えない。統合はやむなしと思う。ただ、とりあえず近いところの明智中学校に統合であれば、子供たちの負担は少ないと思う。明智中学校でお願いするという方法はいけませんか。

教育長 これまでの検討委員会でも、3校(案)、2校(案)を検討されました。2校(案)ということになりましたが、令和12年には、どちらかの学校が単学級になってしまいます。その中で、今1校にしますと資料にもありますように、令和16年度も1学年2学級を維持できます。できるだけ早い時期に子供たちのより良い環境を整えたいと考えております。

参加者 1校統合には賛成とは素直に言えない。今の時代は経済が豊かとは言えない。子供たちのことを考えているのなら、15億円の費用を増改築にかけるのかとか、せっかく5校の中学校があるのに、と思う。そこに通う子供たちがどう思うのか。恵那市は豊田市と違って経済が豊かではない。予算が削られて、税金が増えているのに、今の時代に合った、子供たちに学ばせるお金の使い方があるのではないかと。串原は人数が少ないので、まずは明智に統合して今の状況を

切り抜けるべきでは。ちょっと強引すぎると思う。反対している人もいるし。子供たちのことを真剣に考えてほしい。子供たちの価値とか意識とか、本当に目の前によい校舎があるのに、新校舎を建てて、そこに通うってどうなのと思う。

教育長 この統合につきましては、いくつかの委員会でそれぞれの地域の代表の方も来ていただいて、お子さんのことを考えて、真剣に話をされました。それから、校舎を増改築するにあたっては、お金もかかりますが、様々な補助金とか工夫しながら、少しでも市の持ち出しを少なくしていけたらと思っております。ただ、お子さんの教育環境を整えるにあたっては、ある程度のお金が必要であるということは、避けて通れないということを思っております。お子さんのために必要なお金をかけることは、良いことではないかと思っております。

参加者 前回の会議で統合が決まっているなら早く進めてほしいと言ったが、各地域の話を聞くと、賛成・反対・疑問がある。なぜこういう風になっているのか考えてみた。保護者に話がないままに提言書を受理して進めるところに反対意見がすぐ出ると思う。前まで早く進めてもらいたいと思っておりましたが、こんな状況で進んでいくのに、すごく疑問を感じる。今となってはこんなやり方では困る。

教育長 私どもとしましては、それぞれの地域・保護者の方、それから学校等の代表の方に来ていただいて、それぞれの委員会を行っております。これは、いろいろなことを進める時、代表の方に集まっていたいただいて、そこで検討をいただいて、お答えをいただくことは、よくあるやり方ではないかと思っております。その中でいただいた提言書を大事にしていこうということでございます。ただ、その後の経緯等についての説明について不十分だったとか、足りなかったことがあるということは、私どもも非常に反省をしております。これから進めていく中で、できる限り、情報を提供して、早く情報を公開できるように、努力していきたいということを考えておりますので、よろしくお願ひします。

参加者 生まれは名古屋。妻が串原を好きということで移住してきた。串原では気持ちよく生活ができています。今回、統合ということで教育委員会の中で議論をしてきたと思うが、検討委員会の議事録を見た中で疑問に思ったことがあります。令和4年度の出生数を見ると恵那南地区31名ということで、おそらく12年、13年後には単学級になっていく、出生数は重く受け止めないといけないと思う。どんどん人口が減っていくと思いますが、もっと様々な議論をしてもいいと思う。例えば、中高一貫教育とかほかにならないような付加価値をつけて統合していくことが大事で、いろいろな議論がされるべきだと思います。この検討委員会は3回の会議で提言書が出されていることに疑問を持っています。検討委員会に統合時点で保護者になる方は何名みえたのか。提言書を出されたことで多様な議論をすることは可能か。

教育長 最近行いました、教育環境等検討委員会は3回ということでございますが、それ以前の例えば、恵那南地区中学校再編委員会は10数回の会議を持ちまして、代表も30名を超えております。最初は2校3校案。それから反対といういろいろな意見がある中で、討議されました。皆さん本当に思いを語られました。例えば、地元から中学校がなくなることは、すごく寂しい思いもありながら

も、1校統合の答申をしていただきました。それを受け止めて、教育環境等検討委員会ということでございます。回数が少ないということはあるかもしれませんが、それまでのことを含めるとしっかり検討してきたのではないかと感じております。それから、意見を聞く、いろいろなアイデアを受け取る機会はないのかということでございます。これは、校長会や教頭会等でも話をしていますが、来年度から小学校でも中学校でも統合に向けて、いろいろな話をします。子供たちにも考えてもらうような機会。それから人間関係。急に知らない人と一緒になってくるのが心配なこともありますので、今あるタブレット等の活用だけでなく実際に直接会うような交流を行いながらより良い学校作りに向けて体制を整えていきたいと考えております。これから専門部会など部会を作ったりします。そういうところでも、ご意見をいただいて前向きに考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

参加者 中学統合に関わる子供がいます。統合に関して、以前、平成27年や昨年ぐらいにもあった話ですが、ここまで決まりました。とか予算が組めましたというような情報をどんどん提供してほしい。今の現時点での状況の情報をおろしてくれないと分からない。話し合いの結果を示してほしい。

教育長 前回答申をいただいてから、なかなか進まなかったことにつきましては教育委員会としましても進め方が良くなかったこともあったかもしれません。情報の伝え方が良くなかったこともあるかと思えます。これからのつきまちは、議会が終わりますと市として進めていこうということで、向かう方向が明確になります。そうすると、ご相談いただくこと。それから決定事項として報告ができると思います。今まで統合ということの方向が定まっていな中で、情報が少なかったことにつきましては、本当に申し訳ないと思います。これからは決まったこと、それから進みつつあることを丁寧に説明したいと思います。今の段階で分かっていますのは、来年度予算に400万円を計上させていただきました。これにつきましては、スクールバスの検証と校舎改修の基本設計です。どんな建物を作るのかということについて基本設計等していくための費用になります。これから動き始めます。そういう時にはご説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

参加者 中学校の再編についての議論されているいろいろな資料をHPで見ました。長い議論を積み重ね、これだけ深く考えていらっしゃると思ひ安心しました。ただ、保護者ではないおじいさんおばあさんの立場で言いますと中学校が遠いところに行くのが困る。迎えに行くのも大変。親は忙しいからおじいさんおばあさんが迎えに行くことになるが、串原は雪が降ると道に積もる、道もカーブばかりで悪い。2車線確保できていない。そういうところを必死に迎えに行くということはおかしいと思う。平成27年に決まった答申から5,6年止まっていたのは、市民の意見があったから止まっていたと思う。それについてはとても良かったと思うが、新しく委員会を作って議論を早いスピードで行われたことに疑問を思っている。時代や経済状況、環境は大きく変わっている。議論の中で恵南地区の声が通りにくかったのでは。発言できる機会が少なかったと思う。今回の説明会も、目前に議会に提出されようとしている。私たちが言っても基本方針以外の答弁がいただけない。

1月19日の串原の説明会で、教員の数について恵南地区5中学校で現在41名の先生が1校にした場合20名と言っているが、どういうことか。先生が半分になると教育力も半分になると思う。人件費削減目的としたものではないかと思う。

通学時間について、瑞浪市は2,30分のバス通学、家からバス停までは500mの基準を作っている。恵那市は60分を認めるのか。どういう違いがあるのか。子供にとって大きな負担だと思う。気象状況によってはもっと時間がかかると思う。恵那市は中学校だけで考えている。小中一体で考えなくてはいけないと思う。恵那市の議論は非常に偏っていると思う。山口市は小学校も含めて総合的に考えていて、小中一貫校もある。

教育長

本日の資料にはありませんが恵那市では、平成20年に小規模教育検討委員会を行い小学校のこともについても検討しております。その時点では、小学校は人数がある程度少なくなってきたとしても、統合はしない。地域に残そうという答申が出ておりますので、小学校のことも考えております。

中学校の教員の人数のことでございます。恵南地区として、現在40人います。それが20人になるからということでございますが、1つの学校で20人いるという意味です。これは大きいと思います。現実には県外もですが、今、教員が本当に足りないということでございます。場合によっては、最初からいるべき教員が配置されないということも起こります。退職された方や、いろいろな方へ声をかけて進めています。20人が減るのではなく、20人の方がいろいろな学校へ配置されることで、恵那市全体で手厚い授業を行うことができるということでございます。

それからスクールバスのことでございます。瑞浪市より恵那市は範囲が広いです。時間が1時間以内ということで、できるだけ時間をかけずに通学できる方法はないかとこれからも考えてきたいと思えます。地域によって実情が違います。例えば、飛騨の方でも統合したところと言いますと、バス通学で1時間ぐらいかかっているところもございまして。それは広さによって、距離的なものはどうしようもないところがありますので、スクールバスの運行の方法とか工夫しながら、少しでも通学に時間がかからないよう考えていきたいと思っております。

参加者

通学の時間と距離のことがとても心配。実際に山岡中学校から車を走らせてみました。ノンストップで50分、距離は25.8km。子供たちがこれから山岡へ通うということですね。この距離は、明智から土岐の肥田中学校、中津川の坂本中学校までの距離。それが子供たちのためになるのかと思う。検討委員会の方は地域を回られたかはわからないが、それで提言されたのか。委員会には明智の人は0人、山岡の人は4人。そんな構成で話を決めたのか。

大野地区の人は、この統合では子供がかわいそう、それなら稲武へ通わせたいという声を聞いた。なぜ教育委員会にその声が届いていないのか。実際に遠くから通う遠距離通学の子供が出てくることに対して、子供たちに我慢させるような形での統合は、子供たちのための統合ではないと思う。教育長さんも遠距離の子供を通わせたいと思われませんか。

教育長

この説明会等が始まってから「実際に走らせたのか」という質問がありました。以前、教育委員会でも実際に走らせましたが、私達も実際に車を走らせてみました。串原は大野のバス停をスタートして、相走、松本、松本口、総合

福祉センター前、山岡中学校という経路で走ってみました。距離は26.7 km。所要時間が54分でした。このことにつきましては、これからも検証していきながらもっとよい方法がないかということも含めて検討していきたいと思っています。子供が通う時間をあなたはどのように考えますか。ということですが、例えば、遠くによい学校があるということイメージはできます。それが子供にとって良いと思えば、私は行かせると思います。確かに保護者の方もきっと負担が増えるわけです。例えば、何か起きた時に学校が全部面倒を見るというわけではありません。今、実際に学校では何か体調が悪くなったりしたときは、緊急の場合は学校から病院へ連れて行きます。保護者の方に病院まで来ていただけないか。という対応もしております。もちろん保護者の方にも負担といえますか、お願いすべきことはあると思います。今、どこの学校も行っております。それから、学校によっては徒歩で40分50分かけて学校へ行く子供たちもいます。そういう子供たちもいる中で、バスで1時間以内ということであれば、バスの中での過ごし方も含めて工夫することは何かないのかなど。そんなことも検討しながら進めていきたいと思っています。

参加者 今後、子育てをしていくという立場で聞かせていただきました。子供の人数の推移をみると集団での学習はある程度の数がないとできないことは重々承知の中です。準備委員会の中の専門部会には、串原地区は何名とか事前に決まっていますか。

教育長 各PTAの役員の方からも人数はどうなるのかと、お問い合わせがあります。先日、小学校の今年のPTA会長さん、来年のPTA会長さんの集まりに私たちを呼んでいただいて話をする機会がありました。それぞれ保護者の数も違います。最初、私たちはPTA役員の方に来てくださいという話をしました。役員じゃないとダメなのかという話がありました。各小学校等を代表して来ていただけるような方を出していただきたいということ。人数につきましては、それぞれの地域で保護者の数に違いがありますので、人数を考慮しながら考えていこうということです。今はまだ何人ということは決めておりませんが、串原は人数が少ないので、不利ではないかというお話があるかもしれませんが、できるだけないように、十分意見を聞きながら進めていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

参加者 先日、PTAの保護者対象の説明会を恵南各地域で行ったと聞きました。その説明会でいろいろな意見や懸念事項が出たと聞きました。串原地域においても子供が生まれていない年があるので、統合自体は避けられないと思います。ただ、統合に向かって進めていく中で、統合して一番影響を受けるのは子供たちであり、保護者です。保護者の方々の気持ちをしっかり共有をして、進めていく形をとっていただきたいと思います。7年前の再編委員会のメンバーになっていたが、付帯項目の中に、保護者や地域住民の声を重視して、十分な理解と協力を得ながら進めるという項目がありましたが、今の進め方には疑問に思う。

Q&Aの中に1校案の項目があるが、当時、2,3校についての検討はほとんどされておらず、ほぼ1校ありきで進んでいた。だからこの回答は非常に残念。今日も2校案が出てきているということは、そういう気持ちの保護者もいる。当時の答申にこだわるのではなく、柔軟に考えて広い視野で保護者の意見を聞いていただき、気持ちを共有しながら進めてほしい。統合の主役は子供であり保

護者であり地域住民です。その辺りを十分理解して、今後進めていただきたいと思いをします。

教育長 再編委員会のときの様子のお話をいただきました。確かに直接2校3校について話し合ひましょう。と、そういう方向ではなかったかもしれませんが、会議の中ではいろいろと意見があり、反対の立場の方もみえました。会議を進められた中で、最終的に1校という答申をいただいたということは、とても重いものだとは感じています。それを受けて進んでいるということです。私たちは手順を踏んでというか、順番に積み上げて、ここへ来ています。それから、地域へ説明に行きますと、皆さん、全員が賛成ではなくて、同じように2校はダメなのかとか。通学が心配だとか、同じような意見をいただきます。もちろん賛成という意見もいただきます。その中の1人ですが、保護者がある程度負担するのはやむなし。でも、子供のためなら頑張るよっという意見をいただきました。また、子供が卒業する前に多くの子供がいる学校へ入れて、より良い教育環境で学習ができるのであれ、早く進めてほしいというご意見もいただいております。両方の意見があるということは、私たちも十分存じ上げております。その上でなんとかこの1校、ご理解いただきながら進めていきたいと思っています。これから時間をかけて、統合の良さ、もちろん苦しいこともある話もしながら、子供たちと一緒に統合に向けて進んでいきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

参加者 結論からいうと統合は賛成です。当初、平成33年（令和3年）に統合とあったが、自分の上の子供は流れてしまった。統合という可能性があるのであれば、そこに自分の子供を通わせてあげたい。ただ、3年という期間には手放しで賛成できない。不安の面もあります。今年、中津川市の福岡小学校が延びてしまった。この3年で保護者の不安を取り除いていけるのか。子供に関わる親がぎくしゃくしたまま統合してしまうと、子供も影響を受けて不安になってしまう。子供のことを第一に考えるのであれば、令和8年に開校するのであれば、しっかりと前面に出していただき、親御さんの協力を得て、不安を取り除いて、親が協力してよい学校にできるという形が子供のためと思ひます。

教育長 今の保護者の方に向けても、各地域で説明をさせていただいております。また、PTA会長さんを通して、もっと話が聞きたいということであれば、いつでも伺ひますよ。ということで、既に上矢作小学校、岩邑小学校では、PTA会長さんの依頼を受けて、説明に行かさせていただいております。そういう中で少しでも分かっていただけのように、努力していきたいと思っています。それからよくデメリットを言わないっていうことですが、デメリットは、きっと保護者の皆様、地域の皆様の心配なこと。それがデメリットになっていくのかと思ひます。こういう場で少しでも説明をさせていただきたいと思っています。それから、中津川市の福岡小学校ですが、学校の開校が遅れ、4月から入れないという報道があります。今はコロナの状況や戦争等、世界的なことも含めて、資材を集めるにしても状況が悪い中でのスタートです。これよりさらに悪くなってしまうと、状況が変わるかもしれませんが、できるだけ早く取り組みながら、令和8年度の開校を目指していきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

参加者 串原で生活している身としては、3人のクラスで学校教育としての仲間意識と

かは無理があると思う。統合はやむなしと思う。ただ、現時点で聞いている限りでは、統合する中学校に魅力を感じないです。子供を通わせてあげたいとは思えないです。岩村の方とかが反対される気持ちも分かる。いざこざがある中で学校統合して、よい学校になるのかと思います。そこに行く串原の子供たちがどういう扱いをされるのか心配になります。統合はすごく前向きなことであるはずなのに気持ちが前に向いていない。教育委員会は進め方を反省してほしい。例えば山岡中学校に増設する。10何億円かかりますと話を聞いたとき、数年後にその増設は必要ない出生率じゃないですか。そこにお金かけるのであれば、3校や2校にして段階を踏みつつ、統合に向かっていく柔軟性があってもよいと思います。ハード面に10何億円かけるより、ソフト面に。麴町中学校の工藤勇一先生のような方の意見を聞いて、顧問料を払うようなお金の使い方や、教員の人材を育成するようなお金の使い方をしてほしいです。山岡1校にお金がかかるのであれば、段階を踏む進め方もあると思います。コロナがありました。今後、同じようなことが起こったとき、人数が集中している場所は危ない。感染症とリスクの可能性が高いと思います。ある程度分散する形も検討してほしいという気持ちがあります。あと、こういう学校だったら通わせたいという学校にしてほしい。

教育長

新しい学校をこんな学校にというのは、まだお話できていません。それは本当に申し訳ないと思っています。その辺につきましては、様々な検討委員会や専門部会で話し合っていくことになると考えています。段階的に2校で統合ということですが、どんなイメージの学校の組み合わせをもっているかわかりませんが、組み合わせによっては、2校であっても、増改築が必要になることもあります。どれだけかのお金がかかるということです。子供のために必要なお金をかける。それで、1校で、子供たちがより良い環境で学習できるならば、そちらを選びたいと思っています。それから、大きな環境の1つに教員があると思います。教員については、今の小さい学校がダメかとか、そういうことは全然私たちは思っていません。どの学校も本当に精一杯、先生方がやっけていただいております。中学校の卒業式が最近終わりました。どの学校も本当によい卒業式だったということを知っています。私は恵那北中学校しか行っておりませんので、直接見ておりませんが、本当によい卒業式だということを知っています。今の学校が良くないとかそういうことではないですが、今、言われたように、ある程度の人数の生活の中で様々な経験を通して、子供たちを育てていきたいと思っています。説明をこれからも続けていき、いろいろな意見をお伺いして、よりよい学校を作りたいと思っていますので、よろしくお願いたします。

参加者

串原地域は、以前から小さい学校でありながら「小さな学校、大きな教育」というスローガンを掲げてやっている。卒業式の中山太鼓の記事を見たが頑張っていると思っています。教育長さんは地域の代表と言われましたが、検討委員会には明智の代表は一人もいなかったと聞いています。地域の代表ということであれば、串原地域には市議員さんがいます。3月議会に400万円予算が計上されたと聞きますが、地域の方たちの賛否両論のことも踏まえて、議会議員としての発言を強く求めたいと思っています。他の地域では、振興事務所から統合の議題はあげられません。やめてほしいということを知ると聞きます。しこりを残さないような、円満な解決方法である2校3校統合案まで見直してほしいと思っています。

教育長 いろいろなところから2校3校を考えれないかと伺っています。これまで私たちが説明してまいりましたが、様々な検討委員会を受けて、提言もいただいております。それには重みがあります。先ほど、明智の代表がないということでしたが、明智でいいますと、明智こども園の園長さんに来ていただいています。

参加者 明智ではない。

教育長 明智の人ではないと言われますと、私は可児の人間です。可児の人間は恵那市の教育のことを考える立場でないとと言われると、それは非常に苦しいです。代表というのはそういうことではないと思っています。それが代表ではないと言われると、選ばれた方も非常に心苦しいと思いますし、一生懸命話し合っていた方に対して申し訳ないということを思っています。それから、議員さんについての意見でございますが、今日は教育委員会から説明に来させてもらって、答えるということですので、その件につきましては、今日は控えさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局 閉会の挨拶

開 会 (午後8時59分)